　16歳女性。2日前の夕方、母親に叱責されたことが原因で「死にたい」と考え、前日朝にアセトアミノフェン14,000mgを内服した。その後嘔気があり、本日母親とともに精神科外来を受診、入院となった。受診時、希死念慮は続いており、倦怠感はあるが、意識清明である。

入院時現症：身長 153cm、体重51kg、体温37.1℃、脈拍63回/min、血圧115/70mmHg

血液生化学的所見：白血球4,320/μL（好中球72.0% ,リンパ球22.2% ,好酸球0.2% ,単球5.1%） , 赤血球 404 万/μL , Hb 12.3 g/dL , Ht 37.9% , 血小板 28.3 万/μL , AST 18 IU/L , ALT 12 IU/L , LDH 137 IU/L , ALP 67 IU/L , γGTP 14 IU/L , 総ビリルビン 0.6 mg/dL , 直接ビリルビン 0.2 mg/dL , コリンエステラーゼ 358 IU/L , アミラーゼ 48 IU/L , 総蛋白 7.7 g/dL , アルブミン 4.6 g/dL , TG 59 mg/dL , 総コレステロール 155 mg/dL , HDL 61 mg/dL , LDL 72 mg/dL , BUN 11 mg/dL , Cr 0.68 mg/dL , 尿酸 2.8 mg/dL , Na 141 mEq/L , K 3.6 mEq/L , Cl 105 mEq/L , CRP 0.02 mg/dL

（１）アセトアミノフェン中毒に対する治療薬として正しいものはどれか。

a.　フルマゼニル

b.　アトロピン硫酸塩

c.　亜硝酸アミル

d.　ナロキソン

e.　N-アセチルシステイン

（２）アセトアミノフェン中毒について**誤っている**ものはどれか。

a.　アセトアミノフェンの最大投与量は4,000mg/日である。

b.　消化器症状（悪心嘔吐など）は摂取早期に生じることが多い。

c.　1〜3日程度して肝障害が出現する。

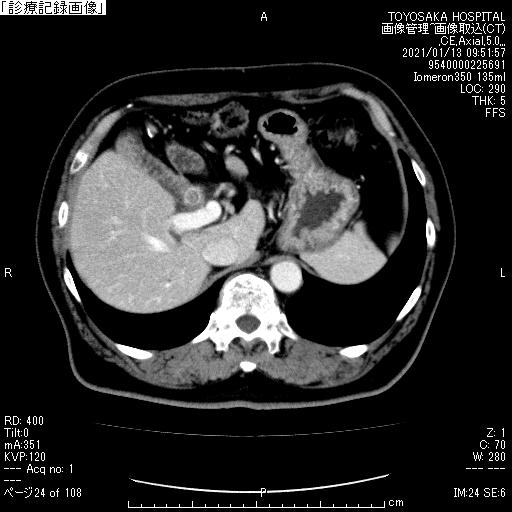
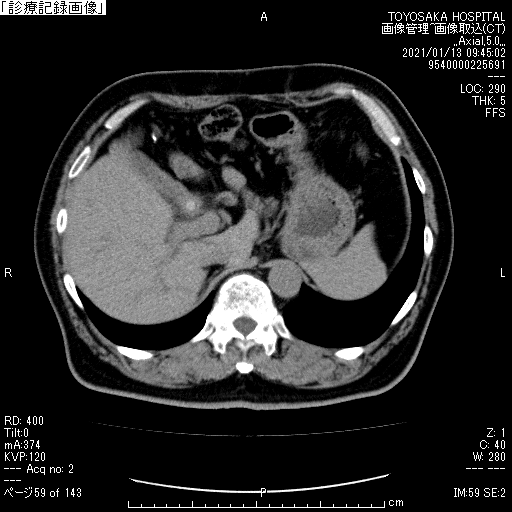
d. 全例で胃洗浄が行われる。

e. 重症例では肝移植が必要となる。

62歳男性。2年前に胆嚢摘出術及び膵頭十二指腸切除術後を施行され、外来経過観察されていたが、定期の外来受診時に肝障害を指摘された。以下に示した同日のCT画像から(1)複数の所見が得られたが、無症状であったため次回の診察の予約をして帰宅した。しかし、当日夜に38.3℃の発熱及び腹痛が生じたため翌日に受診し、(2)治療目的のため大学病院に紹介受診となった。

入院時現症：身長170cm、体重78kg、脈拍66回/min、血圧115/82mmHg

血液生化学的所見：白血球9,660/μL（好中球86.4% , リンパ球9.4% , 好酸球0.1% , 単球4.0%） ,赤血球497万/μL , Hb 15.7 g/dL , Ht 44.9% , 血小板 14.6 万/μL , AST 197 IU/L , ALT 195 IU/L , LDH 341 IU/L , ALP 617 IU/L ,γGTP 389 IU/L , 総ビリルビン2.8 mg/dL , 直接ビリルビン0.5 mg/dL , 総蛋白6.9 g/dL , アルブミン4.2 g/dL , BUN 10.3 mg/dL , Cr 0.94 mg/dL , 尿酸4.4 mg/dL , Na 137 mEq/L , K 4.3 mEq/L , Cl 101 mEq/L , CRP 1.37 mg/dL



造影

単純



造影

1. 画像から読み取れる所見として正しいものを**全て**選べ。

a. 肝腫瘤

b. 胆管内の高吸収貯留物

c. 胃壁肥厚

d. 肝内胆管の拡張

e. 脾腫

（２）治療の選択肢となるものを3つ選べ。

a. PTCD（percutaneous transhepatic cholangio drainage）

b. ERCP（endoscopic retrograde cholangiopancreatography）

c. PSE（partial splenic embolization）

d. EUS-HGS（endoscopic ultrasounds-guided hepaticogastrostomy）

e. RFA（radiofrequency ablation）